

伊豆の国

伊豆の国苺委員会に知事顕彰

川勝知事が飯田委員長に授与

伊豆の国苺委員会は第51回日本農業賞・集団組織の部で大賞を受賞し、同受賞が県の農業振興に寄与すると認められ川勝平太知事から知事顕彰が授与されました。

飯田寿夫委員長は「手間返しの精神や品質検査を徹底した計画契約販売の強化、新規就農者の育成、親株増殖施設を活用した健全苗の安定生産などが評価された」と川勝知事に報告。川勝知事は「お互いに助け合う手間返しは伊豆の国流で見事なもの。集団として受賞したのが良かった」と功績をたたえました。



川勝知事（中央）から知事顕彰を受けた飯田委員長（左から2人目）ら

三島函南

新機体導入でドローン利用強化

タマネギ農薬散布ドローンで地区初

三島函南地区営農販売課は農作業用ドローンの新機体を導入し、農薬散布の取り組みを強化しています。タンク容量は従来機の2倍の10リットルで、バッテリーの持続時間も伸び、作業効率の向上が期待できます。

4月5日には、べと病やアブラムシの防除にドローンによる同地区初となるタマネギへの農薬散布作業を行い、大幅な作業時間、散布量削減を実現しました。

今後も利用品目・面積増加と緑肥の播種、液肥散布での利用など効果的な活用の研究を進めていきます。



新機体の導入で作業効率向上

なんすん

栽培技術の統一・高品質米目指す

厳選きめむすめ「するがの極」栽培マニュアルを作成



営農アドバイザーが新たに作成した「するがの極」栽培マニュアル

なんすん営農経済センターは4月、「するがの極」栽培マニュアルを作成し、するがの極専門部会員へ配布を始めました。

これまでの栽培暦をより見やすくし、新たに加入した部会員に向けて栽培技術を統一していきこうと、営農アドバイザーが新たに作成。栽培の流れを写真や図表を活用して、部会員に分かりやすい工夫しました。

マニュアルは新規部会員への指南書や部会内での共有ツールとして活用し、高品質米生産につなげることで部会員の所得向上を目指します。

伊豆太陽

甘み際立つニューサマーオレンジ

冷風貯蔵でおいしさアップと労力分散

4月上旬、東伊豆町稲取にある大型の冷風貯蔵庫へ、伊豆太陽地区の特産品である「ニューサマーオレンジ」の入庫が始まりました。

冷風貯蔵することにより、酸味が抜けて甘みが際立つ効果があります。さらに、生産者の労力分散や販売面では出荷時期の調整ができ有利販売につなげます。

今期は12人の生産者らが16トン入庫し、5月下旬まで貯蔵。5月下旬から6月上旬まで県内市場を中心に出荷されます。



冷風貯蔵庫へ入庫するニューサマーオレンジを集荷

富士

健康増進へ旬の食材で料理学ぶ

女性部富士地区本部島田支部が料理教室

女性部富士地区本部島田支部は4月25日、島田支店の調理室で料理教室を開きました。女性部は今年度、食事を通じて部員の健康増進を行う料理教室を、年間14店舗で29回行います。

同日はJA静岡厚生連の山口友里先生の指導の下、キャベツやタケノコなど旬の食材を使い4品を調理。参加者からは「部員と共に楽しみながら新しいレシピを学べる」と好評でした。コロナ禍のため衛生管理を徹底し、できた料理は持ち帰って味わいました。



山口先生（中央）からキャベツとタケノコの肉巻きを教わる部員

富士宮

JAふじ伊豆誕生記念イベント“富士伊豆殿の13品”

JA×イオン共同 JAふじ伊豆農産物販売

富士宮市のファーマーズマーケット「う宮～な」は4月22日～24日の3日間、同店とイオンスタイル富士宮食品売り場の両会場で、当JA選りすぐりの13品の農産物を販売するイベント「富士伊豆殿の13品」を開きました。

「伊豆太陽ニューサマーオレンジ」や「伊豆ニューミニトマト」「沼津ねがた白ねぎ」「内房たけのこ」など、管内のブランド農産物が売り場を彩りました。

イオンリテール(株)東海カンパニー食品部の和鹿正憲バイヤーは「野菜の質もレベルが高く、新鮮さに驚いている」と称賛。「う宮～な」の中島恵一郎店長は「地域に管内の産品を知ってもらう場ができてうれしい。自慢の産品を存分に味わってほしい」と話しました。



JAふじ伊豆選りすぐりの農産物の買い物を楽しむ来店客（イオンスタイル富士宮）

伊豆太陽

ハウスみかんの時季到来

4月に園地巡回で生育状況確認

伊豆太陽地区では5月上旬にハウスみかんが初出荷され、今期は約81トンの出荷を見込んでいます。

4月18日には伊豆太陽ハウスみかん部会が、東伊豆町と河津町でハウスみかんの園地巡回を実施しました。生産者やJA職員ら17人が2班に分かれて20カ所を回り、栽培管理や生育状況を確認。巡回後は稲取支店で当面の重点管理などについて話し合いを行いました。東伊豆営農経済センターの営農アドバイザーは「生育は順調で、今後の管理が重要」と呼びかけました。



園地巡回では果実の肥大状況などを確認

御殿場

御殿場支店が特殊詐欺被害を防止

水際で大切な財産を守る

御殿場支店の長田正之支店長と窓口職員に4月13日、特殊詐欺被害を未然に防いだとして御殿場警察署の中西浩署長から感謝状が贈られました。

3月31日、80代男性が高額出金を申し出て、窓口職員が用途を確認したところ不自然な点が多く、長田支店長に相談。支店長が再度来店客に聞き取りをして警察に通報し、同日中に特殊詐欺の容疑者が逮捕されました。

窓口職員は「今後も積極的に声掛けをし、お客さまが話をしてくれる関係を築いていきたい」と話しました。



中西署長(右)から感謝状を受ける長田支店長(左)と窓口職員

伊豆の国

小柳出さんが金1席に輝く

第41回静岡県乾椎茸箱物品評会が開催

4月12日に第41回静岡県乾椎茸箱物品評会を伊豆市の修善寺営農経済センターで開催しました。

品評会には787点が出品。一次審査を通過した41点が銘柄ごとに審査され、最高位の金1席・林野庁長官賞は当JAの小柳出勝さんの花冬菇(はなどんこ)が選ばれました。金賞はすべて当JAの伊豆市の生産者が受賞しました。金賞受賞者は次の皆さまです。

敬称略

金賞=小柳出 勝(花冬菇・上冬菇)、堀江 富男(大葉厚肉)、秋津 和昌(大葉中肉・中葉中肉)、星谷 彦衛(中葉厚肉)



銘柄ごとに規格や形状、色・光沢などを審査

なんすん

新築工事の安全を祈願

すその富岡支店・すその営農経済センター安全祈願祭

すその富岡支店とすその営農経済センターの安全祈願祭が4月15日、裾野市御宿の建設予定地で行われました。

鈴木正三組合長をはじめJA関係者と工事関係者の約25人が出席。神事を執り行い、工事の安全を祈願しました。

新店舗は鉄骨造2階建てで、現在の同支店・営農経済センター敷地内に建設します。今年12月に完成を見込みます。



神事を執り行う鈴木組合長



神事で工事の安全を祈願

あいら伊豆

新たな農業の担い手育成へ

農作物栽培講座・野菜コース開講

あいら伊豆地区営農販売課は4月23日、令和4年度農作物栽培講座・野菜コースの開講式を伊東市のあいら伊豆営農経済センターで開きました。開講式後には第1回講座を開き、同課の営農アドバイザーが肥料や農薬などの基礎について講義を行いました。

同講座は、あいら伊豆地区在住で農業に意欲のある人や将来農業を考えている人を対象に開講。今年度の受講者は6人で、令和5年3月までの間、講義と実習を交えて野菜づくりの知識や技術の習得を目指します。



営農アドバイザーが野菜栽培の基礎について講義

三島函南

家畜の御霊を供養

畜産慰霊祭を開催

三島函南地区本部は4月10日、畜産慰霊祭を三島市の末広山公園で行いました。

畜産農家やJA職員ら約20人が参列。同市の曹洞宗宗福寺住職が家畜への感謝を込めて法要を行い、参加者は畜産碑に献花しました。

同地区では例年同日に慰霊祭を開催しています。三字共有地管理委員会の横山博一管理長は「家畜たちへの感謝の気持ちを再確認し、畜産業のさらなる安定と発展を願う」と話しました。



家畜への感謝を祈る参列者

富士

旬の野菜をお手頃価格で

岩本山産直市で春の感謝祭

富士地区の岩本山産直市は4月15日、イチゴや春キャベツ、タケノコなど旬の野菜をお手頃価格で購入できる「春の感謝祭」を開きました。

同店は市内で唯一の午後開店の産直市。当日は多くのお客さまが来店しました。産直市部会員による出店や1,000円以上お買い上げの先着100人にミカンジュースをプレゼントし、これを楽しみに多くの来店客で賑わいました。6月15日には「富士山麓わくわくコーン」フェアが同店で行われます。



店内に並ぶ旬の農産物を吟味する来店客

御殿場

おいしい米づくり始まっています

水稻苗を巡回調査

4月15日から22日にかけて、御殿場地区営農課と各営農経済センターの職員が、御殿場地区管内で農家が水稻苗を管理している72カ所を巡回し、生育状況を確認しました。

職員は「苗半作というように、米の出来にも関係するので確認作業には熱が入る」と話し、「急に気温が高くなったので、草丈が長い人が多い。昼間はもちろん、夜もハウスを開けるなど温度調整をきちんと行ってほしい」と呼びかけました。



水稻苗の生育状況を確認するJA職員(左2人)と生産者(右)